於福小だより

令和５年11月15日発行
11月号 No.2 於福小学校

学校教育目標（大嶺中学校区共通目標）
美祢を語り、夢を語れる地域の担い手の育成と豊かな地域づくりをめざして

HPもチェックしてみてください！

校長 永田 直子

先週は、ふくふくネット主催のもちつきや創立150周年記念行事があり、あわただしく感じましたが、すべてが無事にそして盛会に終わり児童も教職員もほっとしているところです。ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。お礼申し上げます。

計画や準備期間を含め、当日までに学んだこと、発見したこと、ふれあいを通して感じた温かさや優しさ、すべてが子どもたちの宝物となりました。子どもたちはこれからも多くの人やもの、こととの出会いを通して大きく成長してくれるものと確信しています。今後とも、子どもたちの健やかな成長のため、皆様のご理解とご協力をいただけますと甚幸に存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

もちつきや記念行事の様子は、コミスクだよりで詳しくお伝えします。

新しい縦割り班での生け花

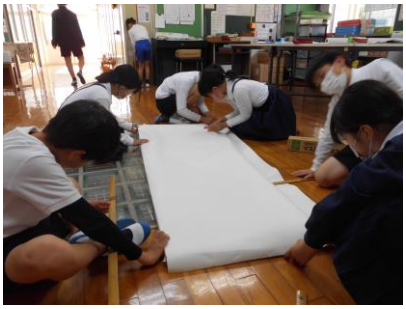
縦割り班は、前期と後期の2期制で活動しています。10月から新しいメンバー構成となり、児童同士の新たな関わりや発見が随所に見られます。15分という短い時間ですが、全員集中して生けていました。校舎内に色とりどりのお花が飾られ、癒やされています。今回は、1，2班の児童が生け花をしました。

人権教育参観・講演会

10月27日、今回の“おふくの日”は、人権教育授業参観と講演会でした。5時間目の授業では、各学級で人権について考えを深めました。後半の講演会では、塚田拓司先生を講師にお招きし、一年生から大人まで、幅広い年齢層に対応した内容で分かりやすくお話をしていただきました。落語では、スピード感と臨場感にあふれており、会場が笑いに包まれました。共感力とは、人の気持ちを分かろうとする力、人とつながって私たちは生きて生かされている、また、ほめることやふわふわ言葉を使うことの大切さなど、多くのことを教えていただきました。あっという間の一時間でした。

【児童の感想より（一部抜粋）】
・言葉のキャッチボールでは、相手のボールを無視したり落としたり強く投げると相手が嫌な気持ちになることが分かりました。相手の気持ちを考えて言おうと思います。
・言葉は人を動かすことができると知りました。これからほめることを心がけたいです。
・落語は一人で何役もしてすごいと思いました。相手のことを思うとなかなか言葉が出ないときがあるけど、言葉のキャッチボールはすごく大切だと思いました。これから言葉を丁寧に使いたいです。
・落語は思わず何回も笑ってしまいました。人と人との接し方について考えさせられました。
・始めは、人権って何？と思いましたが、スライドで分かりやすく説明してくださったおかげで「自分の権利」「相手の権利」や、気持ちよくなる言葉などを知ることができました。

創立150周年記念行事に向けて



←プラバン作り　↑ポスター手渡し　↑立て看板作り

歴史カルタ作り

日々の活動のようす

図書館担当の川本先生より、読書感想画の描き方についてアドバイスをもらいながら進めています。全学年でご協力いただきました。本の世界観や子どもの思いを会話から上手に引き出し、的確な支援をいただきました。 私も小学生の時に出会いたかったです。

低学年のおいもほり。校舎前にある畑の野菜は、うり坊かシカのえさに．．．。正面玄関前に植えた野菜とさつまいもは奇跡的に無事でした。後日、スイートポテトを作りました。